

- 問1 四日市市などの工業都市を擁する三重県の工業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 出荷額において、パンや清涼飲料水などの食品工業が最大の割合を占めている。 | 2. 高度な技術を要する印刷業が、重化学工業の出荷額を上回る規模で成長している。 | 3. 伝統的な繊維工業が、現在でも県全体の工業出荷額の過半数を占めている。 | 4. 輸送用機械や化学、石油・石炭製品などの重化学工業が中心となって発展している。 |
|---|--|---------------------------------------|---|
- 問2 ある都道府県の統計において、米の産出額が約194億円であるのに対し、野菜が約643億円、果実が約298億円と農業産出額が全体的に大きく、さらに漁業産出額も約551億円という非常に高い水準にある自治体として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 静岡県 | 3. 山梨県 | 4. 大阪府 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 日本アルプスなどの高い山々に囲まれた中央高地の盆地では、他の地域と比較して「ため池」が多く見られます。この地域でため池の利用が発達した理由について、地形と気候の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 標高が高いため冬の寒さが厳しく、河川の大部分が凍結して農業用水の取り入れが困難になるため。 | 2. 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。 | 3. 内陸部で夏の気温が非常に高くなるため、土壌に含まれる水分が蒸発しやすく、常に大量の散水が必要なため。 | 4. 山地からの急斜面が多く、降った雨がすぐに海へ流れ出てしまい、地下水が全く蓄えられないため。 |
|--|---|---|--|
- 問4 日本の気候区分のうち、北西からの季節風の影響を受けて冬の降水量（降雪量）が多くなる日本海側の気候の特徴を表した雨温図の記述として、最も適当なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 夏にあたる6月から8月にかけて降水量のピークがあり、冬は乾燥して雨が少ない。 | 2. 12月から2月にかけての冬の時期に、月別の降水量が年間の中でも特に多くなる。 | 3. 年中を通じて雨が少なく、どの月の降水量も100mm未満にとどまる。 | 4. 年間を通じて降水量の変化が少なく、毎月の降水量がほぼ一定である。 |
|---|---|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。 | 2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。 | 3. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。 | 4. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発展し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。 |
|---|--|---------------------------------------|--|
- 問6 愛知県などで盛んに行われている、菊の「電照栽培」と呼ばれる栽培方法の仕組みとその目的について述べた説明として、最も適切なものを選んでください。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を長く調節し、開花時期を遅らせることで出荷時期を調整する。 | 2. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を短く調節し、開花時期を早めることで収穫回数を増やす。 | 3. 温室内の温度を照明の熱で上げることで、冬場の冷害を防ぎながら露地栽培よりも早く成長させる。 | 4. 強い光を当てることで光合成を極限まで促進させ、通常の栽培よりも大きな花を短期間で育てる。 |
|--|--|--|---|
- 問7 北陸新幹線を利用して福井駅から長野方面へ向かう際、列車が停車する主な駅の順序を西から東へ順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. あわら温泉、加賀温泉、富山、金沢、長野 | 2. あわら温泉、加賀温泉、金沢、長野、富山 | 3. あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野 | 4. 金沢、加賀温泉、あわら温泉、富山、長野 |
|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
- 問8 日本有数の茶の産地である静岡県と鹿児島県の統計において、栽培面積に対する乗用型大型機械の導入割合を比較すると、静岡県の約6割に対し、鹿児島県は約9.5割と非常に高くなっています。このように茶の収穫に乗用型大型機械を積極的に導入する最大の目的として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 1. 1ヘクタールあたりの収穫量である土地生産性を最大化すること | 2. 熟練した労働者を多く雇用し、地域の雇用機会を創出すること | 3. 少ない労働力で効率よく生産を可能にすること | 4. 手作業による摘み取りを行い、茶葉の品質を極限まで高めること |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------|----------------------------------|
- 問9 太平洋側の地点から日本海側の地点まで、中部地方を横断するように直線を引いた際の標高の変化を説明した文章として、正しいものはどれですか。資料としての地形断面図の特徴を踏まえて答えなさい。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 内陸部に広大な平野が広がっているため、標高は一時的に上昇するものの、断面図の半分以上の区間で標高が二百メートル以下に保たれる。 | 2. 海岸線付近の海拔ゼロメートル地帯から内陸に向かって標高が急激に上昇し、赤石山脈など一キロメートルを超える険しい山地を通過した後、再び日本海側へ向かって下降する。 | 3. 太平洋側から日本海側まで大規模な盆地や平坦な扇状地が連続しているため、断面図の大部分において標高の変化がほとんど見られない。 | 4. 太平洋側の海岸部から内陸の県境付近まで標高が一定の割合で上がり続け、日本海側の海岸線に到達した地点で最も標高が高くなる。 |
|--|---|---|---|
- 問10 日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 山梨県 | 3. 石川県 | 4. 青森県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問11 北陸地方の富山県において、アルミニウム工業が発達した理由として、この地域の自然環境とエネルギー源の関係について述べたものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|
| 1. 広大な平野部と日照時間を活かした太陽光発電が、クリーンな電力を供給した | 2. リアス海岸の入り組んだ地形を活かした原子力発電が、安定した電力を供給した | 3. 高い山々と豊富な降水量を活かした水力発電が、大量の電力を供給した | 4. 森林資源から得られる木材を燃料としたバイオマス発電が、工場の熱源を供給した |
|--|---|-------------------------------------|--|
- 問12 日本の自動車産業における「工場集積」の仕組みと、その背景にある生産体制について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 部品をすべて海外の関連工場から輸入する体制をとっているため、国内の部品工場は減少が続けている | 2. 組み立て工場が部品工場を周辺に配置させることで、在庫を抱えず効率的に生産する体制がとられている | 3. 組み立て工場と部品工場を同じ巨大な一つの建物内に収容することで、輸送を一切行わない体制をとっている | 4. 各工場がバラバラな場所に立地することで、地域ごとの景気変動に左右されない分散型の生産体制をとっている |
|---|--|--|---|